

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 27年4月11日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4679500092
法人名	社会福祉法人 ともお会
事業所名	さくら園グループホーム
所在地	鹿児島県大島郡知名町阿木名1949番地 (電話) 0997-93-5151
自己評価作成日	平成27年2月25日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成27年3月17日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- グループホームの周りは畑に囲まれ、その風景を見ながら四季を感じ、ホール内では体ほぐしやレクレーション、テレビ観賞を楽しまれたりと個々の生活にあわせゆったり楽しく暮らしている。
- 日々の生活の中で庭先に見えるさくら、百合等、四季の草花、きんかんの収穫を楽しみにされている。
- 行事や地域行事への参加(夏祭り、敬老会、運動会、クリスマス会、島唄会、誕生会、参拝、四並蔵神社相撲見学、花見等)、ほぼ毎日のように面会者とお茶会など、家族や地域の方たちと楽しく交流が来ている

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当ホームは母体の特別養護老人ホームや併設の福祉施設が隣接し、職員研修や災害訓練・緊急時の対応などの協力体制が整っており、利用者や家族・職員にとって安心である。
- ・利用者の各居室にはトイレや洗面所が設置されており、インフルエンザ等の感染症対策として活かされている。夜間時にベットを移動して排泄の自立支援に繋がるよう工夫している。
- ・職員会で職員の意見や提案がよく出されており、職員の提案を活かして勤務時間の変更等で利用者に関わる時間を多く持てるよう改善に取り組んでいる。
- ・事業所は利用者の外出や行動を制限しない方針で運営しているため、図書館の利用や園庭の花・野菜の手入れなど、自由に行動し生活を楽しめるよう配慮している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	<p>○理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている</p>	<p>理念はホールに掲示してあり職員は理念を共有し、日常業務でその実践に向けて取り組んでいる</p>	<p>全職員でホーム独自の理念を作成し、利用者と一緒に唱和し、理念に沿った支援を行っている。</p>	
2	2	<p>○事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している</p>	<p>三大大行事（夏祭り、敬老会、運動会）には地域住民が参加できる様に宣伝を行い、また地域の行事に積極的に参加し地域住民と交流が図られている。</p>	<p>地域の文化祭に利用者と職員の合作の作品を出展したり、保育所や町主催の運動会の見物や敬老会へも参加している。事業所の行事等に地域住民も参加し、地域で活躍している職員からの情報も活かして地域との交流に努めている。地域住民からの枝付きミカンや畑の作物等の差し入れも受けている。</p>	
3		<p>○事業所の力を生かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。</p>	<p>地域の方に相談をうけた場合、実践で積み上げた認知症の理解や支援方法等わかりやすくアドバイスできるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会においては、利用者の状況、事業活動経過等を報告し委員の皆さんが意見や要望を出せる雰囲気づくりに努めている。また意見、要望については全職員で改善策を検討し改善に努めている。</p>	<p>会議は定期的開催し、利用者の介護度が重度になった時の対応や外部評価の結果報告や改善策などを報告し、委員から意見や助言・要望などが出され、対応できるよう検討している。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。</p>	<p>町の担当者とは電話での相談や更新や認定申請時を通じ連携に努めている。運営推進会議に参加して頂き、ご指導を仰ぐようにしている。</p>	<p>利用者の毎月の名簿や入居状況を町担当者に届けたり、利用者の更新申請時に事業所の取り組みを報告している。運営推進会議でも利用者の事を相談して適切なアドバイスを得ている。町担当者から研修等の情報を得るなど、協力関係を築いている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>施設内研修や職員会で勉強会をし身体拘束の知識を深め、職員は常に介助の方法を話し合いながら、身体拘束をしないケアを心がけている。</p>	<p>職員は身体拘束をしないケアに努め、職員会で身体拘束に関する研修会を実施している。ケアを通して疑問に思うことや介助の方法など話し合っている。日中は玄関の施錠をせず、外に出て行く利用者は職員間の連携で見守り、自由な生活を支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>鹿児島県や包括支援センターからの資料等にて職員会で勉強会を行い、日常的のその防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>日常生活自立支援について、職員会で勉強会を実施。成年後見制度については、職員全体会で研修に参加した職員から報告を受け内容を共有するように努めている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約書や重要事項説明書に添って該当箇所を示しながら口頭で説明を行い、家族の方に不明な点が残らない様に十分な説明を行う事で理解、納得して頂けるようにしている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>意見箱を設置したり、居室担当職員を決めて利用者や家族が意見や要望等職員に気軽に話せるように努めている。</p>	<p>利用者や家族が思いや意見を気軽に話せる雰囲気作りを心がけている。面会時には、家族に状況報告を行って、家族の意見や要望を聞き、運営に反映させるよう努めている。意見箱も設置している。転倒予防のお願い等を職員に気軽に話しており、支援に反映している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎月の代表者会や職員会を実施し職員からの意見や提案は運営に反映できる様に努めている</p>	<p>毎月のケア会議等で職員の意見を聞く機会を設けており、勤務体制や業務内容の変更を行い、利用者との関わりや見守り、受診に付き添うなど職員の提案を活かした取り組みをしている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>社会福祉制度、介護保険制度、社会情勢の変化に対応して諸規定の整備を図ると共に安心して働ける環境づくりに努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>県、郡の協議会に加入して、各研修会に参加するように努めている。また島内の研修会には、夜勤者を除いて全員研修会に参加するようにしたり、合同勉強会などに努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他施設の職員や利用者との交流が出来るよう、お互いの施設を訪問して、サービスの向上を目指している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居に至るまでの生活歴、趣味、不安や困っている事、要望等をきかせていただき安心して頂けるようなサービスの提供を行う事で良い関係づくりに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の都合に合わせて、話し合いの機会を作り、心配事や困っている事等受け止め不安を解消できるような、サービスを提供することで安心していただけるように努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	担当ケアマネジャー、管理者、計画作成者で検討し、本人、家族の了解を得たうえで他のサービスの利用を含めた対応が出来るように努めている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一人ひとりの力に応じた作業を一緒に行う事で暮らしを共にするもの同士の関係が築けている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	行事への参加、通院への同行、状態の変化など、事あるごとに連絡、相談を行い家族と共に本人を支えていけるようにご協力を頂いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	字巡りや友人との面会ができるように野外活動を実施している。家族や知人・友人の面会時には、本人の居室にてお茶等を準備して楽しく談笑してもらっている	ドライブや花見、弁当を持っての野外活動などで知人に出会う事が多い。馴染みの理髪店やお店の利用を支援している。併設のデイサービスや母体の特別養護老人ホームに出向き知人に面会し会話を楽しんだり、来年度は年賀状等の便りを作って家族に送る計画を予定しており、関係継続ができるよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ホームでの暮らしの中心となるホールのテーブル席は、ご本人の意向と相性の良さを客観的に見て決めており、トラブルや訴えがあれば随時変更をしている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院や他施設へ移行された方とはお見舞い、食事の介助、面会など交流を図っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の関わりの中で声をかけ、言葉や表情などからご本人の意思を推測しそれとなく確認している。困難な場合は家族と話し合い本人の思いに近づけるように取り組んでいる。	ケア記録帳に本人が話した言葉を記録して、思いや意向の把握に努めている。意思疎通が難しい利用者には状態や状況によって関わった時に把握したり、家族からも聞き本人中心に支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	可能な限り本人から、聞き取りを行い、家族やケアマネジャーから情報を収集し日々の生活に生かせるように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者一人ひとりの生活のリズムを理解し行動や言葉、表情から心身状態の把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月のケア会議や状態変化時に検討し、個々のケア記録を作成し本人らしく暮らせるために、必要な関係者と話し合い、意見を反映した介護計画の作成を行っている。	本人や家族の意向を毎月のケア会議で各関係者と話し合い介護計画を作成している。モニタリングは6ヶ月毎に実施している。状況が変わった時は見直しなどをその都度検討している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々のケア記録を個別化し、常に職員間で情報を共有し、実践や介護計画の見直しをしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>利用者や家族の要望や希望に応じて専門医への通院や入院中の支援、併設されているデイサービスセンターの慰問見学に出かけ交流を図っている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>保育園児、小中学生との交流会、消防署との訓練、島唄等のボランティア、各種団体の慰問等があり楽しまれている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>専門的な診療は専門医療機関を、かぜ等の日常的な診療にはホーム協力医を活用するなど状況に合わせた診療態勢を取っている。</p>	<p>本人や家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。1週間に1回の往診がある。適切な医療が受けられるように支援している。受診時の付き添いや送迎などは家族の状況によっては事業所でも対応する等の便宜を図っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>かかりつけ医院の看護師、特養、デイサービスセンターの看護職員と相談しながら入居者が、適切な医療が受けられるように支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院中は職員が面会行きその都度、情報交換に努め、早期退院への話し合いや、退院時のサマリー等で情報交換をしている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化した場合のあり方について、グループホームは看護職員がいないことを伝え、本人や家族の意向を聞き、方針を共有し安心した生活ができる様に取り組んでいる。</p>	<p>入居時に終末期ケアについての説明を行っている。状態の変化時に、再度話し合いを行って家族等の意向に沿って対応している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時対応マニュアルをそなえて発生時に備えている。病院の看護師や、特養、デイサービスの看護師の指示、助言、訓練を行ったり、救命講習にさんかし技術の習得に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>利用者と共に、年2回避難訓練を行い、利用者の安全な避難方法を確認したり、隣接の特養とも連携を密にしている。</p>	<p>年2回夜間想定で避難訓練を行い、隣接の特別養護老人ホームとも連携を図り、協力体制を築いている。火災訓練で行動のシミュレーションを行い指定の避難場所の確認などもしている。職員会でも定期的実施するように話し合っている。災害時の飲料水や食料の備蓄もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	排泄の有無を尋ねる時は、声のトーンを押さえる配慮を行い、個々に会った声かけをし、プライバシーの確保に努めている。	プライバシーの研修は母体施設と合同で実施している。声かけなど職員間で気付いたときは注意し合い、プライバシーを損ねない言葉かけの支援に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の思いや希望で自己決定に結び付けている。表せない利用者は、表情やしぐさなどから思いを組み取り自己決定に近づけるよう努力している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	出来る限り利用者一人ひとりの言動を大切に、コミュニケーションを図りながらその方のペースに合わせた支援を行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	乳液の購入を頼まれたり、本人の望む理容、美容院への送迎の支援をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	野菜の下ごしらえ、盛り付け、食器洗い、下膳、お膳拭きなど食事に関する作業を職員と一緒に語り合いながら行っている。好きな食べ物（サツマイモ、黒糖、コーヒー等）メニューに入れたりしている。	個々の力量に応じて野菜の下拵えや食事の準備・後片付け等を職員と一緒にしている。ホットプレートを使いおやつ作りを楽しんでいる。差し入れの人参やキャベツ等を利用者に見せて色合いや形具合など楽しんでもらってから調理している。園庭でのお茶飲みや野菜や花を畑で作る楽しみ、見る楽しみ、収穫する楽しみ等も提供している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士の献立によりバランスの良い食事の取り組みを実施、一人ひとりの咀嚼、嚥下状態に合わせた食事形態を提供して、食事、水分量が把握できるようにしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、働きかけを行い一人ひとりの力に応じた、口腔ケアの支援を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	できるだけ排泄はトイレで行えるよう支援し、一人ひとりの排泄パターンに応じ、声かけ誘導を行っている。	個々の排泄パターンでトイレ誘導を行っている。自室のトイレを使用する歩行困難な利用者はベットのトイレに近づける等、排泄が自力で行えるよう支援している。夜間帯は鈴を活用した工夫を行い、起居動作時の利用者の動きを察知しトイレ誘導する等、自立に向けた支援を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日排便チェックを行い、医師の指示により緩下剤の服用を行いながら、散歩、ヨーグルト、さつまいも、牛乳等の食材を利用し便秘予防に努めている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	基本的には入浴日を決めている個々の心身状態に合わせて希望に応じて対応している。	入浴は冬季は1週間に2回入浴が楽しめるよう支援している。行事や利用者の希望で朝風呂も実施している。本人希望のシャンプーや本人好みの入浴剤を入れて色や香りを楽しんでいる。入浴拒否の利用者は時間を置いて再度誘導する等で対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中は自室やホールのソファで休息をとって頂き、夜間は居室の室温や寝具の状態、入眠状況の確認を行い、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員は、薬についてほぼ理解しており、その人の力に応じた服薬支援を行い、症状の変化の確認を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりが張り合いや喜びのある生活が送れるように、その人に力に応じた役割、楽しみごとへの取り組み、散歩や買い物に行くなどしている。しすえつ		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	施設周りの散歩、職員との買い物、園外活動等、家族によるドライブ、また地域の色々なイベントには家族や地域の人々に協力をしていただきながら参加し外出の機会を増やしている。	日常的には園庭での散歩や日向ぼっこを楽しみながら、戸外での新鮮な空気を肌で感じられる支援をしている。家族の協力を得て月に数回遠出して、園外活動やドライブ等を行っている。町の運動会に全員で出かけた際には町民に車椅子を押してもらおう等の協力もある。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人と家族の希望に応じている。入居者の程度に応じ、お金の所持、使用をしてもらい支援に努めている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	島外の家族へは電話を掛ける機会を作っている。かかってきた電話もすぐに本人に取り次ぐようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>玄関には季節の花、ホームには季節を感じられる飾り付け等入居者と一緒に行っている。共有の空間には必要最低限の物しか置かず整理整頓を行い、利用者がゆったり過ごせるよう配慮している。</p>	<p>共用のホールは広く、高い天井とガラス窓から入る光で明るい。外の景色や園庭の花・野菜畑が眺められる。島唄や懐かしい童謡の音楽が流れ、ゆったりとした雰囲気が漂っている。ホールと玄関入口に季節の飾り付けや島名産の花などを飾り、季節を目と肌で感じられる様に工夫され、居心地よく暮らしている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ソファや畳みのコーナーがあり自由に過ごしていただける場を設け、居心地のよい場所になるように工夫している。</p>	/	/
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>本人や家族と話し合い、使い慣れた寝具、タンス、仏壇、本人が大切なものなど居室に取り入れ、居心地良く過ごせるように工夫している。</p>	<p>居室はベッドや洗面所・トイレなどが備え付けられており、プライバシーが守られ、冬季の感染時期も安心して過ごせる工夫がされている。居室はバリアフリーの造りで園庭に出れる。自宅で使い慣れた家具や寝具類等を持ち込み、本人の好みに合わせた配置がされている。壁や棚には家族の写真などを飾り居心地よく過ごせるよう支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>ホール、廊下、トイレ浴室に手すりを設置。一人ひとりの出来る事を理解し、その人の力に応じた行動を見守り安全に過ごせるように工夫している。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない